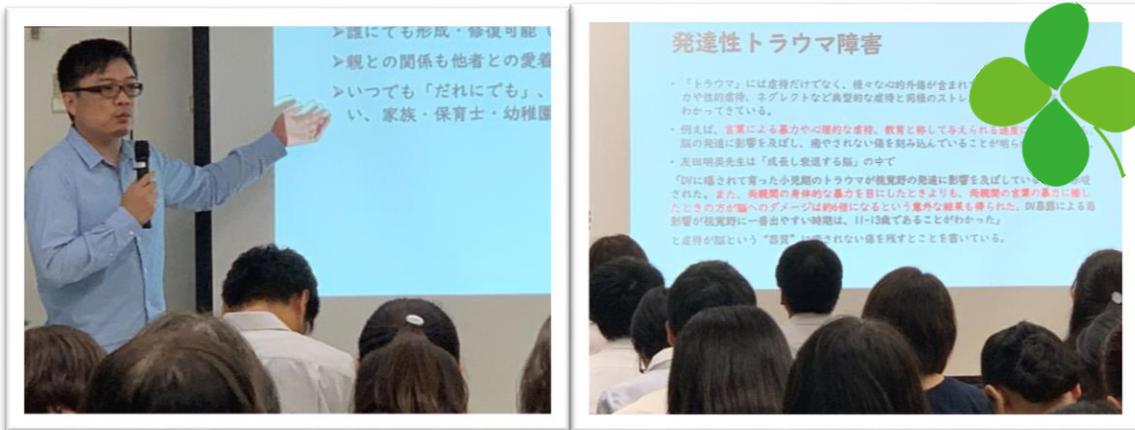


講座2 地域支援講演会「子どもの心の今～愛着障がいの視点と支援～」



「子どもたちの心の今～愛着障がいの視点と支援～」と題して、本校のスクールカウンセラーであり、すかがわ子育てネットワーク TUNAGU 代表、合同会社ゆずりは代表、NPO 法人福島子どものころと未来を育む会理事長等、各方面でご活躍の 富森崇 様より講演をいただきました。

虐待や自然災害の被害、メディア、ゲーム等の刺激過多等が現在の子どもたちを取り巻く状況の中、愛着を形成する3つの機能(安全基地機能・安心基地機能・探索基地機能)が欠如することによって起こる様々な問題について、詳しく話していただきました。また、愛着障がいの間違った理解や発達障がいとの違いについて具体的な例を挙げての説明があり、それによって支援のあり方も違ってくることが知ることができました。愛着形成は親にしか形成されないものではなく、いつでも、誰にでも形成・修復は可能であり、特に子どもと関わるチャンスが多い保育士、幼稚園教諭、各学校の教師はその役割を担っているとの話を伺い、支援のあり方を考える大変貴重な機会となりました。

～参加者の感想より～

- 発達障がいと愛着障がいの違いについて分かりやすく確認できた。愛着障がいについて間違った認識をしていたこともあり、生徒と接する際に関わり方を分けるようにしていきたい。
- 保育士でも愛着関係を築けることを知って安心した。
- 発達性トラウマ障害について初めて知ることができた。親の影響も十分受けることから、震災を経験した子どもだけでなく、そのあとに生まれた子どもたちも今後気を付けて対応していかなければならないと思った。
- 愛着障がいと発達障がいを併せ持つ特徴を知ることができた。